

防災・減災、国土強靱化に向けた  
道路の5か年対策プログラム（九州ブロック版）を策定  
～今後5か年の目標を示し、取り組みを重点的かつ集中的に実施～

- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月11日閣議決定）に位置づけられた目標や事業規模等を踏まえ、防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（九州ブロック版）を策定しましたので、お知らせします。
- 本プログラムにおいて、今回、新たな開通の見通し及び令和3年度の主な進捗箇所を公表いたします。
- なお、今後の事業進捗状況等を踏まえ、適宜、本プログラムの見直しを行ってまいります。

【開通の見通し及び令和3年度の主な進捗箇所】

○開通見通し公表

- ・ 完成に向けた事業の実施環境が整った5事業の開通見通しを新たに公表

○令和3年度の主な進捗箇所

- ・ 新たに4事業の地元設計協議に着手
- ・ 新たに5事業の用地買収に着手
- ・ 新たに4事業の工事に着手

- 引き続き、災害に強い国土幹線道路ネットワークにおける「5か年加速化対策」に位置付けられた道路分野の対策を中心に、防災・減災、国土強靱化の取り組みを重点的かつ集中的に実施します。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 道路部 道路計画第一課 課長 こまい まさき  
駒井 正樹

TEL : 092-476-3529（直通）

FAX : 092-476-3478

# 防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム

令和3年4月  
九州地方整備局

## 1. プログラムについて

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、大規模地震の発生も切迫している。また、高度成長期以降に集中的に整備された多くのインフラの老朽化が見込まれることから、それらの維持管理・更新を確実に実施する必要があるが、適切に対応しなければ、中長期的なトータルコストの増大を招くのみならず、我が国の行政・社会経済システムが機能不全に陥る懸念がある。

こうした状況を踏まえ、政府は防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間で、追加的に必要となる事業規模を政府全体でおおむね15兆円程度を目途として、重点的かつ集中的に講ずる対策を定めた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（以降、「5か年加速化対策」）を令和2年12月11日に閣議決定した。

道路事業においては、「5か年加速化対策」に位置づけられた目標や事業規模等を踏まえ、各都道府県における5か年の具体的な事業進捗見込み等を示し、計画的な事業執行に取り組むとともに、周辺の開発事業等との連携を図りながら、対策の効果をより一層高めることを目的として、本プログラムを策定するものである。

## 2. 対策概要

令和2年11月には、社会資本整備審議会道路分科会九州地方小委員会の意見を踏まえ、高規格道路<sup>※</sup>と直轄国道を組み合わせた災害に強い国土幹線道路ネットワークを選定するとともに、防災上の課題箇所を把握したところである。

※高規格幹線道路、地域高規格道路（計画路線）、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定

そのため、災害に強い国土幹線道路ネットワークにおける「5か年加速化対策」に位置付けられた下記の道路分野の対策を中心に、防災・減災、国土強靱化の取り組みを重点的かつ集中的に実施する。

- ①高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

近年、激甚化・頻発化する災害から速やかに復旧・復興するためには、道路ネットワークの機能強化が必要不可欠である。発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保することを目標として、災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進する。

## ②道路施設の老朽化対策

今後、急速に進展する道路施設の老朽化に対し、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現する予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の対策を推進する。

## ③渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策

令和2年7月豪雨では、梅雨前線の停滞による記録的な大雨により、河川の氾濫および橋梁の流失、河川隣接区間の道路流失等が発生した。通行止めが長期化する渡河部の橋梁流失や河川隣接区間の道路流失等の災害リスクに対し、橋梁・道路の洗掘・流失対策や橋梁の架け替え等を推進する。

## ④道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策

切迫している南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害などに備え、津波や洪水からの緊急避難場所を確保するため、地方公共団体のニーズを踏まえ、予測浸水深よりも高い位置に整備されている直轄国道の高架区間等を緊急避難場所として活用するための避難施設（避難階段等）の整備を推進する。

## ⑤道路の法面・盛土の土砂災害防止対策

令和2年7月豪雨をはじめとする近年の豪雨では、道路区域内だけでなく道路区域外からも土砂崩落が発生し、高速道路及び直轄国道等の幹線道路に長時間にわたる通行止めが生じるなど道路交通に支障を及ぼす事態が発生した。道路の法面や盛土において、レーザープロファイラ調査等の高度化された点検手法等により新たに把握された災害リスク等に対し、豪雨による土砂災害等の発生を防止するため、法面・盛土対策を推進する。

## ⑥市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策

令和元年房総半島台風では、既往最大風速を更新する局地的な強風等により約2,000本の電柱が倒壊し、道路閉塞に伴う通行止め等により復旧活動に支障が生じた。電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等の緊急輸送道路において、道路閉塞等の被害を防止するため無電柱化を推進する。

## ⑦ITを活用した道路管理体制の強化対策

災害発生時や復旧段階において、道路状況を速やかに把握した上で円滑な交通を確保することは、人命救助、復旧・復興、社会経済活動において必要不可欠である。遠隔からの道路の異常の早期発見、維持管理作業等の自動化・無人化、過積載等の違反車両の取り締まりを行う体制の強化やAI技術等の活用による立ち往生車両の自動検知システムの導入など、維持管理の効率化・省力化を推進する。

## 3. 対策実施箇所

- ① 災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策 【別添図】  
　　<参考資料>開通の見通し及び令和3年度の主な進捗箇所 【別紙1】
- ② 道路施設の老朽化対策
- ③ 渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
- ④ 道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策
- ⑤ 道路の法面・盛土の土砂災害防止対策
- ⑥ 市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策
- ⑦ ITを活用した道路管理体制の強化対策

## 4. その他

「5か年加速化対策」において示された事業規模は、今後の災害の発生状況や事業の進捗状況、経済情勢・財政事情等を踏まえ、機動的・弾力的に変動するものであり、本プログラムにおける事業進捗等もそれに応じて変わり得るものである。

また、本プログラムの事業進捗等については、必要に応じて、見直しを行うものとする。

以上

＜参考資料＞開通の見通し及び令和3年度の主な進捗箇所

【開通見通しの公表】

県	担当事務所	開通予定	路線名	箇所名	事業規模
宮崎県	延岡河川国道事務所	令和3年内	九州横断自動車道 延岡線	たかちほ ひのかげ 高千穂日之影道路 ひのかげ ふかすみ ひらそこ 日之影深角IC～平底交差点	2.3キロ
宮崎県	宮崎河川国道事務所	令和3年度	都城志布志道路	みやこのじょう 都城道路 おとぼろ よこいち (仮称)乙房IC～横市IC	3.0キロ
鹿児島県	大隅河川国道事務所	令和3年夏頃	東九州自動車道	しぶし すえよしたからべ 志布志～末吉財部 しぶし かのや くしら (仮称)志布志IC～鹿屋串良JCT	19.2キロ
福岡県 佐賀県	有明海沿岸国道事務所	令和4年度	有明海沿岸道路	おおかわさが 大川佐賀道路 おおのしま もろどみ 大野島IC～(仮称)諸富IC	1.7キロ
宮崎県	宮崎河川国道事務所	令和4年度 ※引き続き、 芳ノ元トンネル周辺の 地すべり対策が 順調に進捗した場合	東九州自動車道	きよたけ きたごう 清武JCT～北郷 きよたけみなみ にちなんきたごう 清武南IC～日南北郷IC	17.8キロ
福岡県	北九州国道事務所	★令和4年度	黒崎道路	くろさき 黒崎バイパス はる まち まえだ じんのほる 春の町ランプ～前田ランプ、陣原オンランプ	1.5キロ
熊本県	熊本河川国道事務所	★令和4年度	一般国道3号	うえき 植木バイパス 熊本西環状道路～国道3号	0.9キロ
熊本県	熊本河川国道事務所	★令和4年度	一般国道3号	くまもと きた 熊本北バイパス すや 国道3号～須屋高架橋交差点	1.8キロ
熊本県	熊本河川国道事務所	★令和5年度	九州横断自動車道 延岡線	かしま やべ 嘉島JCT～矢部 やまとなかしまにし やべ 山都中島西IC～(仮称)矢部IC	10.4キロ
大分県	大分河川国道事務所	★令和5年度	中津日田道路	さんこうほんやばけい 三光本耶馬溪道路 たぐち あお どうもん らかんじ 田口IC～青の洞門・羅漢寺IC	5.3キロ
福岡県	北九州国道事務所 福岡国道事務所	令和6年度	一般国道201号	やきやま 八木山バイパス ささぐり ちくほ 篠栗IC～筑穂IC	5.6キロ
福岡県	北九州国道事務所 福岡国道事務所	令和11年度	一般国道201号	やきやま 八木山バイパス ちくほ ほなみひがし 筑穂IC～穂波東IC	7.7キロ

★：新たな公表箇所

※今回、開通見通しを公表した事業については、事業毎に担当事務所にて個別記者発表を実施していますので、詳細内容は事務所HPを参照・ご確認ください

## ●令和3年度の主な進捗箇所

### 【新たに地元設計協議着手】

県	担当事務所	路線名	箇所名	事業規模	新たに地元設計協議着手する区間
熊本県 宮崎県	延岡河川国道事務所 熊本河川国道事務所	九州横断自動車道 延岡線	そよう ごかせ 蘇陽五ヶ瀬道路	7.9キロ	(仮称)蘇陽IC～(仮称)五ヶ瀬東IC (延長7.9キロ)
熊本県	熊本河川国道事務所	中九州横断道路	おおづ くまもと こうし くまもと 大津熊本道路(合志～熊本)	9.1キロ	(仮称)合志IC～(仮称)熊本北JCT (延長9.1キロ)
宮崎県	宮崎河川国道事務所	一般国道220号	にちなん みやうら うど 日南防災(南区間・宮浦～鶴戸)	1.7キロ	みやうら うど 宮浦～鶴戸地区 (延長1.7キロ)
鹿児島県	大隅河川国道事務所	一般国道220号	うしね さかい 牛根境防災	4.5キロ	たるみず うしね さかい 垂水市牛根境 (延長0.2キロ)

### 【新たに用地買収着手】

県	担当事務所	路線名	箇所名	事業規模	新たに用地着手する区間
佐賀県	佐賀国道事務所	一般国道34号	たけお 武雄バイパス	7.6キロ	たけお きたがたちょう しく たけお きたがたちょう おおさき 武雄市北方町大字志久～武雄市北方町大字大崎 (延長1.3キロ)
長崎県	長崎河川国道事務所	一般国道34号	おおむらいさはや 大村諫早拡幅	4.4キロ	おおむら くぼら いさはや しも おおわたの まち 長崎県大村市久原～諫早市下大渡野町 (延長4.4キロ)
熊本県 大分県	熊本河川国道事務所 佐伯河川国道事務所	中九州横断道路	たけた あそ 竹田阿蘇道路	22.5キロ	たけた 竹田IC～(仮称)波野IC (22.5キロ)
大分県	大分河川国道事務所	一般国道210号	かわした 川下改良	1.1キロ	ひた 日田市大字川下地区 (1.1キロ)
宮崎県 鹿児島県	宮崎河川国道事務所 大隅河川国道事務所	東九州自動車道	あがらつ なついで 油津・夏井道路	20.5キロ	(仮称)あがらつ なる 油津IC～(仮称)南郷IC、 (仮称)なる なる 留IC～(仮称)夏井IC (20.5キロ)

### 【新たに工事着手】

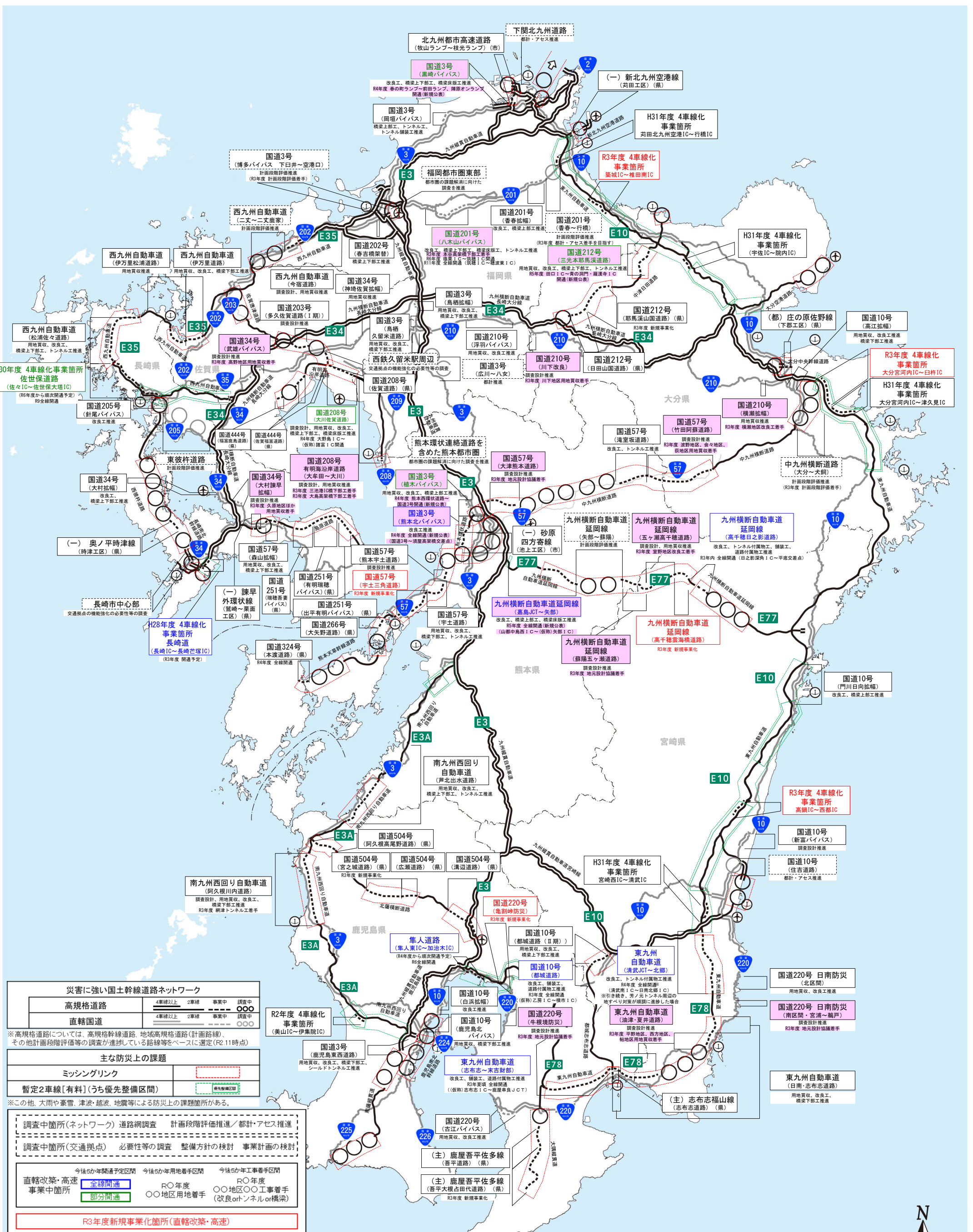
県	担当事務所	路線名	箇所名	事業規模	新たに工事着手する区間
福岡県	北九州国道事務所	一般国道201号	やきやま 八木山バイパス	13.3キロ	ちくほ ほんみ にし 筑穂IC～穂波西IC (延長4.5キロ)
福岡県 熊本県	有明海沿岸国道事務所	有明海沿岸道路	ありあけかいえんがん 有明海沿岸道路 おおむた おおかわ (大牟田～大川)	27.5キロ	みいけ 三池港IC連絡路 (延長2.7キロ)
大分県	大分河川国道事務所	一般国道210号	よこせ 横瀬拡幅	1.5キロ	よこせ 大分市大字横瀬 (延長1.5キロ)
宮崎県	延岡河川国道事務所	九州横断自動車道 延岡線	ごかせ たからほ 五ヶ瀬高千穂道路	9.2キロ	(仮称)ごかせ ひがし 五ヶ瀬東IC～(仮称)たからほ 高千穂IC (延長9.2キロ)

【新たに工事着手（橋梁上部工・トンネル）】

県	担当事務所	路線名	箇所名	事業規模	構造物	概要
長崎県	長崎河川国道事務所	西九州自動車道	まつうら さざ 松浦佐々道路	19.1キロ	まつうら 松浦2号トンネル	NATM工法
鹿児島県	鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道	あくね せんたい 阿久根川内道路	22.4キロ	おうづ 網津トンネル	NATM工法
福岡県	北九州国道事務所	黒崎道路	くろさき 黒崎バイパス	5.8キロ	くろさきにし 黒崎西ONランプ橋	鋼4径間連続鉄桁橋
福岡県	北九州国道事務所	黒崎道路	くろさき 黒崎バイパス	5.8キロ	くろさきにし 黒崎西ランプ橋	鋼製橋脚
福岡県	福岡国道事務所	一般国道201号	やきやま 八木山バイパス	13.3キロ	しんきど 新城戸橋	鋼4径間連続鉄桁橋
長崎県	長崎河川国道事務所	西九州自動車道	まつうら さざ 松浦佐々道路	19.1キロ	まつうら 松浦2号橋	鋼単純鋼床版箱桁橋
長崎県	長崎河川国道事務所	西九州自動車道	まつうら さざ 松浦佐々道路	19.1キロ	えむかえ 江迎5号橋	鋼単純鋼床版箱桁橋
長崎県	長崎河川国道事務所	島原道路	もりやま 森山拡幅	7.6キロ	しもいわた あかさき 下井牟田赤崎高架橋	鋼6径間連続鉄桁橋
長崎県	長崎河川国道事務所	一般国道34号	おおむら 大村拡幅	3.7キロ	いいでつ 杭出津橋	鋼単純合成床板橋
宮崎県	宮崎河川国道事務所	都城志布志道路	みやこのじょう 都城道路(Ⅱ期)	5.7キロ	たかぎばら 高木原跨道橋	鋼単純鉄桁橋
福岡県	北九州国道事務所	一般国道3号	おかがき 岡垣バイパス	4.0キロ	のま 野間高架橋	PC3径間連結ポストテンションT桁橋
福岡県	福岡国道事務所	一般国道201号	やきやま 八木山バイパス	13.3キロ	ちくげんやまて 筑前山手橋	PC3径間連続ポストテンション箱桁橋
長崎県	長崎河川国道事務所	西九州自動車道	まつうら さざ 松浦佐々道路	19.1キロ	まつうら 松浦4号橋	PC4径間連結ポストテンションT桁橋 PC3径間連結ポストテンションT桁橋
長崎県	長崎河川国道事務所	西九州自動車道	まつうら さざ 松浦佐々道路	19.1キロ	まつうら 松浦7号橋	PC6径間連結ポストテンションT桁橋
長崎県	長崎河川国道事務所	西九州自動車道	まつうら さざ 松浦佐々道路	19.1キロ	まつうら 松浦8号橋	PC5径間連結ポストテンションT桁橋
熊本県	熊本河川国道事務所	九州横断自動車道 延岡線	かしま やべ 嘉島JCT～矢部	23.0キロ	こさぎ 小血木跨道橋	PC斜材付きπ型ラーメン橋
熊本県	八代河川国道事務所	南九州西回り自動車道	あしきた いずみ 芦北出水道路	29.6キロ	こしがらがわ 小頭川橋	PC単純ポストテンションT桁橋
熊本県	八代河川国道事務所	南九州西回り自動車道	あしきた いずみ 芦北出水道路	29.6キロ	みなまたがわ 水俣川橋	PC3径間連続箱桁橋
熊本県	八代河川国道事務所	南九州西回り自動車道	あしきた いずみ 芦北出水道路	29.6キロ	こじょう 古城第1橋	PC単純ポストテンションT桁橋
熊本県	八代河川国道事務所	南九州西回り自動車道	あしきた いずみ 芦北出水道路	29.6キロ	ふくろがわ 袋川橋	PC3径間連結ポストテンションT桁橋
大分県	大分河川国道事務所	中津日田道路	さんこう ぼんやぼけい 三光本耶馬溪道路	12.8キロ	あどだらがわ 跡田川橋	PC2径間連続ラーメン中空床版橋
鹿児島県	八代河川国道事務所	南九州西回り自動車道	あしきた いずみ 芦北出水道路	29.6キロ	えら 江良川橋	PC単純ポストテンションT桁橋
鹿児島県	八代河川国道事務所	南九州西回り自動車道	あしきた いずみ 芦北出水道路	29.6キロ	ほりはら 針原跨道橋	PC単純箱桁橋
鹿児島県	八代河川国道事務所	南九州西回り自動車道	あしきた いずみ 芦北出水道路	29.6キロ	せきがい 関外橋	PC単純バイブレ桁橋



災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策【九州】



**災害に強い国土幹線道路ネットワーク**

高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定(R2:11時点)

**主な防災上の課題**

ミッシングリンク

暫定2車線[有料](うち優先整備区間)

※この他、大雨や豪雪、津波、越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

調査中箇所(ネットワーク) 道路網調査 計画段階評価推進/都計・アセス推進

調査中箇所(交通拠点) 必要性等の調査 整備方針の検討 事業計画の検討

直轄改築・高速	全線開通	R0年度	○地区	○工事着手
事業中箇所	部分開通	R0年度	○地区用地着手	(改良トンネルor橋梁)

R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5か年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
 ※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。

■:新規公表箇所

